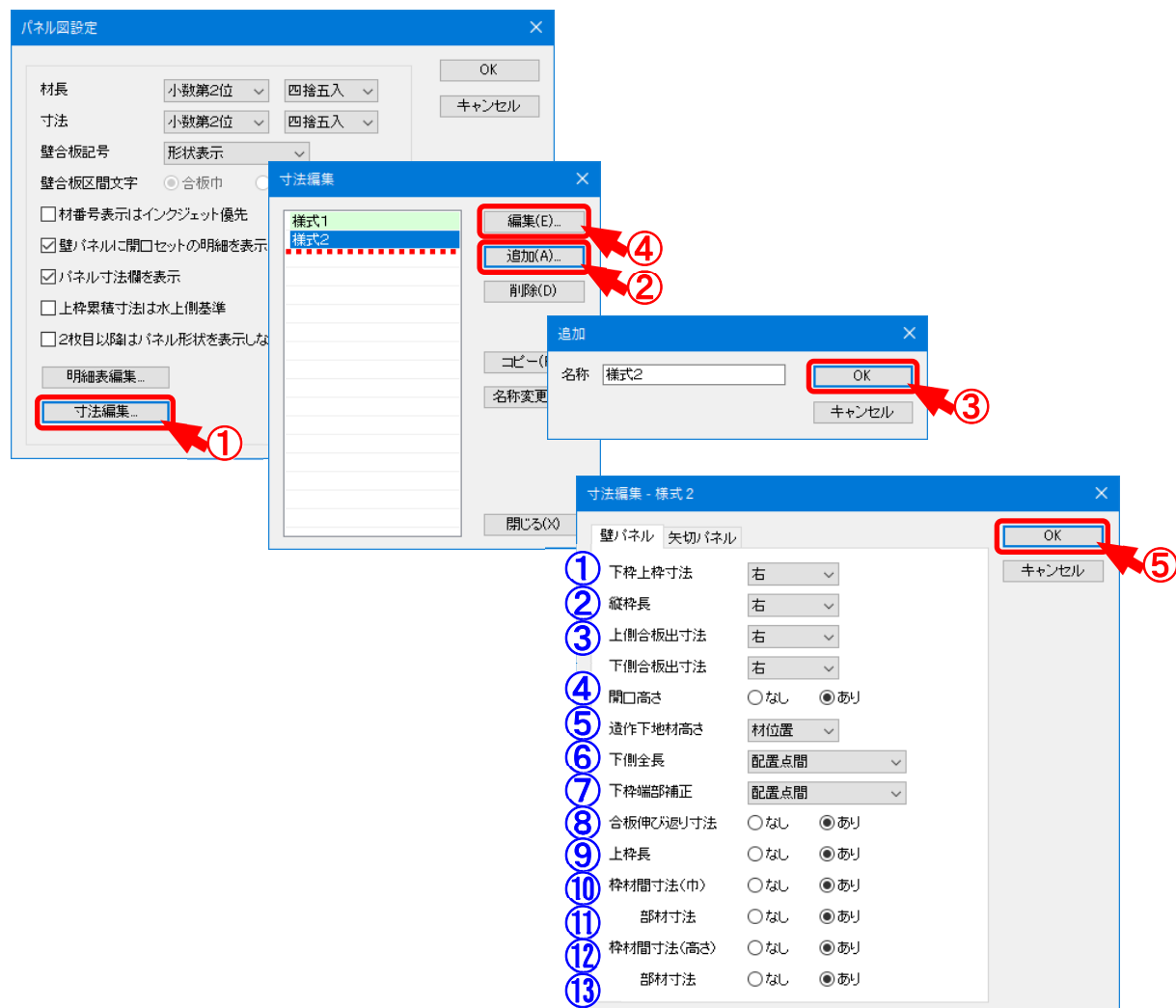


## 補助—マスター編集—表示設定マスター／パネル図設定／寸法編集



表示設定マスター／パネル図設定／寸法編集では、パネル編集モードで〔自動生成－寸法〕を実行した際の寸法の表示方法を設定します。

- ① 〔補助－マスター編集〕の「表示設定マスター」の「パネル図設定」で「寸法編集」をクリックします。
- ② 「寸法編集」の画面が表示されます。  
「追加」をクリックします。
- ③ 「追加」の画面が表示されます。  
仕様名称を設定し、「OK」をクリックします。
- ④ 「寸法編集」の画面で、追加した仕様を選択します。  
「編集」をクリックします。

## 補助—マスター編集—表示設定マスター／パネル図設定／寸法編集

## ⑤ 「寸法編集」の画面が表示されます。

壁パネルの寸法の表示方法は、「壁パネル」のタブで設定します。

矢切パネルの寸法の表示方法は、「矢切パネル」のタブで設定します。

設定後、「OK」をクリックします。

|        |     |
|--------|-----|
| 下枠上枠寸法 | 右 ▼ |
| 縦枠長    | 右 ▼ |

## ① 下枠上枠寸法

下枠下端レベルから上枠天端レベルまでの寸法を生成します。

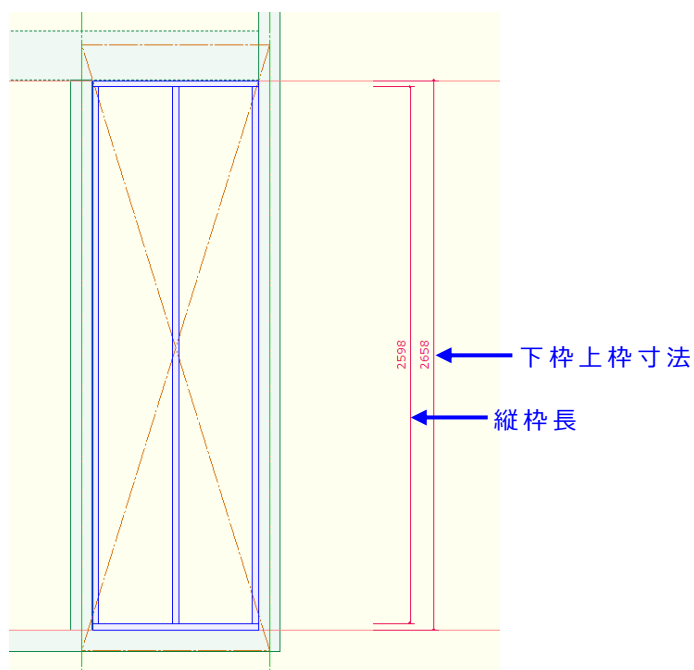
寸法の生成位置を「右」（パネル図の右側）「左」（パネル図の左側）「なし」から選択します。

## ② 縦枠長

縦枠、間柱の長さ寸法を生成します。

寸法の生成位置を「右」（パネル図の右側）「左」（パネル図の左側）「なし」から選択します。

## &lt;下枠上枠寸法／縦枠長&gt;



〔初期仕様－入力設定〕の「入力標準値－壁パネル寸法」で登録した仕様名称が選択できます。

|         |     |
|---------|-----|
| 上側合板出寸法 | 右 ▼ |
| 下側合板出寸法 | 右 ▼ |

### ③ 上側合板出寸法／下側合板出寸法

「枠材間寸法（高さ）」で「なし」を設定している場合に、壁合板の合板出寸法を上側、下側に生成します。

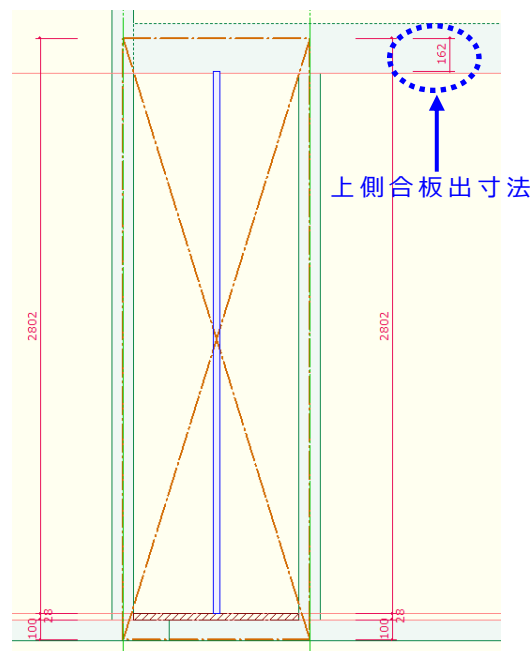
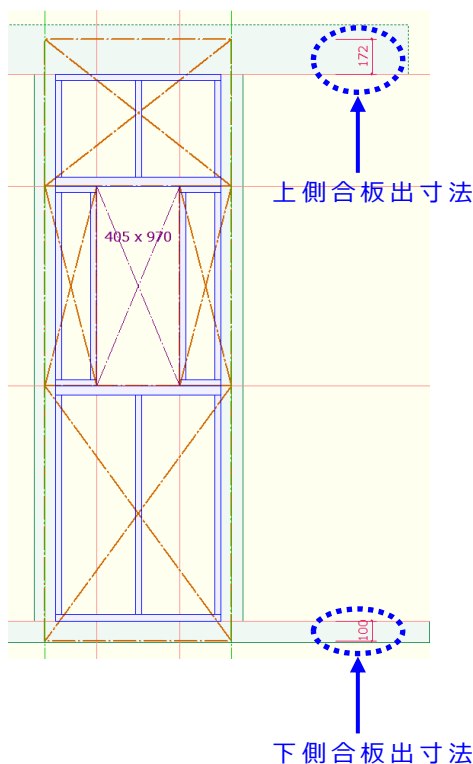
寸法の生成位置を「右」（パネル図の右側）「左」（パネル図の左側）「なし」から選択します。

「枠材間寸法（高さ）」で「あり」を設定している場合は、「上側合板出寸法」「下側合板出寸法」の設定に関わらず、パネル図の右側、左側に合板出寸法が生成されます。

また、「枠材間寸法（高さ）」で「あり」を設定している場合でも、上枠とパネルの両端に縦枠がない逆 T 型壁パネルの時は、下側合板出寸法は「下側合板出寸法」の設定に関わらず、下枠下端から壁合板端までの寸法が生成され、上側合板出寸法は「上側合板出寸法」の設定で寸法の生成位置が決まり、最も高い位置にある縦枠端部から壁合板端までの寸法が生成されます。

### <上側合板出寸法／下側合板出寸法>

- ・「枠材間寸法（高さ）」が「なし」の場合
- ・「枠材間寸法（高さ）」が「あり」の場合



## 補助—マスター編集—表示設定マスター／パネル図設定／寸法編集

|         |                          |                                     |
|---------|--------------------------|-------------------------------------|
| 開口高さ    | <input type="radio"/> なし | <input checked="" type="radio"/> あり |
| 造作下地材高さ | 材位置 ▼                    |                                     |

## ④ 開口高さ

「あり」を選択すると、開口部の高さ寸法を生成します。

壁パネル下レベルから開口下レベルまでの寸法と開口上レベルまでの寸法が生成されます。

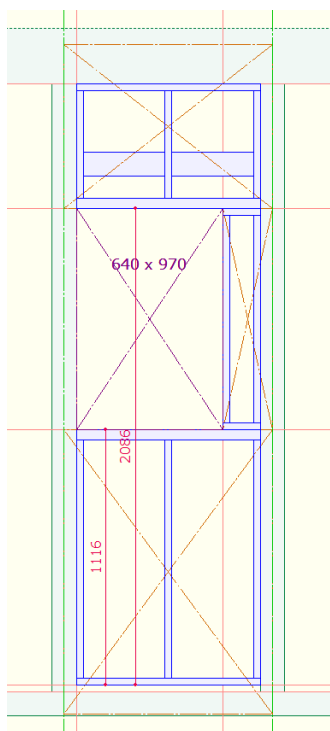
## ⑤ 造作下地材高さ

造作下地材の高さ寸法を生成します。

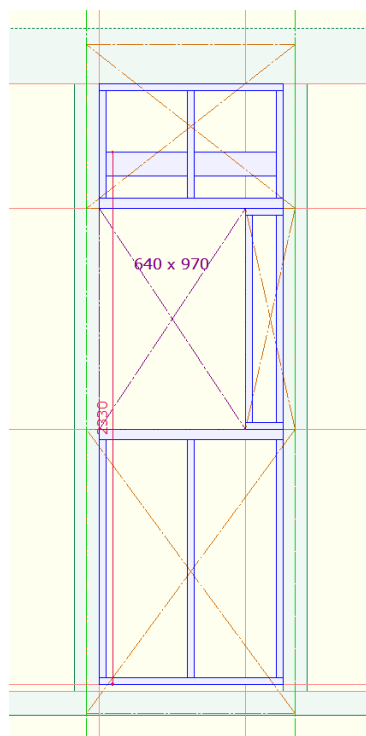
寸法の生成位置を「右」（パネル図の右側）「左」（パネル図の左側）「材位置」（パネル図内）「なし」から選択します。

壁パネル下レベルから造作下地材天端レベルまでの寸法が生成されます。

## &lt;開口高さ&gt;



## &lt;造作下地材高さ&gt;



## 補助—マスター編集—表示設定マスター／パネル図設定／寸法編集

|        |        |
|--------|--------|
| 下側全長   | 配置点間 ▼ |
| 下枠端部補正 | 配置点間 ▼ |

## ⑥ 下側全長

壁パネル下側の長さ寸法を生成します。

寸法の生成方法を「配置点間」「グリッド間」「下枠長」「なし」から選択します。

- ・配置点間：下枠、調整合板の配置点間（配置時にヒットした始点～終点）の寸法が生成されます。
- ・グリッド間：下枠、調整合板の端部が最も近いグリッド、サブグリッド（1 / 2 モジュール）間に寸法が生成されます。
- ・下枠長：下枠、調整合板の材長で寸法が生成されます。

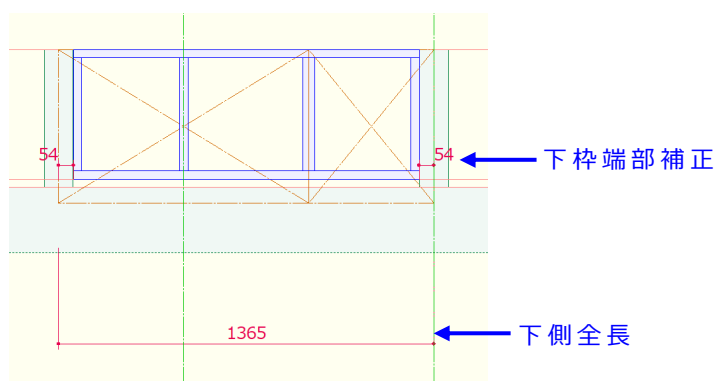
## ⑦ 下枠端部補正

下枠、調整合板の端部補正寸法を生成します。

寸法の生成方法を「配置点間」「グリッド間」「なし」から選択します。

- ・配置点間：下枠、調整合板の配置点（配置時にヒットした点）から材端部までの寸法が生成されます。
- ・グリッド間：下枠、調整合板の端部から最も近いグリッド、サブグリッド（1 / 2 モジュール）までの寸法が生成されます。

## &lt;下側全長／下枠端部補正&gt;



|          |                          |                                     |
|----------|--------------------------|-------------------------------------|
| 合板伸び戻り寸法 | <input type="radio"/> なし | <input checked="" type="radio"/> あり |
| 上枠長      | <input type="radio"/> なし | <input checked="" type="radio"/> あり |

### ⑧ 合板伸び戻り寸法

「あり」を選択すると、「枠材間寸法（巾）」で「なし」を設定している場合に、壁合板の伸び戻り寸法を生成します。

壁パネルの最も端にある縦枠または下枠、調整合板の端部を基準に壁合板の伸び戻り寸法が生成されます。

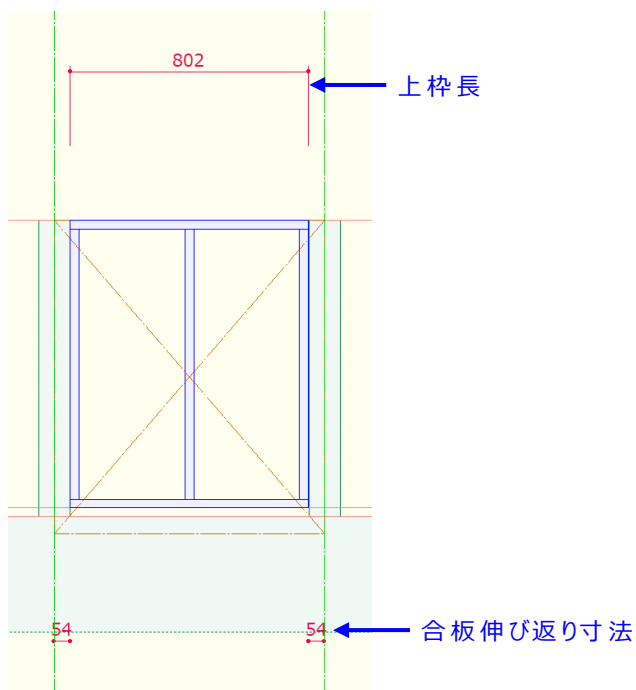
「枠材間寸法（巾）」で「あり」を設定している場合は、「合板伸び戻り寸法」の設定に関わらず、合板伸び戻り寸法が生成されます。

### ⑨ 上枠長

「あり」を選択すると、上枠の長さ寸法を生成します。

矢切パネル等で上枠に勾配がある場合、上枠の長さ寸法は生成されません。

### <合板伸び戻り寸法／上枠長>



|          |                          |                                     |
|----------|--------------------------|-------------------------------------|
| 枠材間寸法(巾) | <input type="radio"/> なし | <input checked="" type="radio"/> あり |
| 部材寸法     | <input type="radio"/> なし | <input checked="" type="radio"/> あり |

### ⑩ 枠材間寸法（巾）

「あり」を選択すると、壁パネル上部と壁パネル下部に縦枠、間柱間の寸法を生成します。  
壁パネル下部に生成する縦枠材間寸法は、下枠または調整合板の端部を基準に縦枠、間柱の間の寸法が生成されます。

壁パネル下端に縦枠材下端がある場合に、壁パネル下部の寸法生成の対象となります。  
壁パネル上部に生成する縦枠材寸法は、上枠があれば上枠端部を基準に、上枠がなく壁合板がある場合は壁合板を基準に寸法が生成されます。

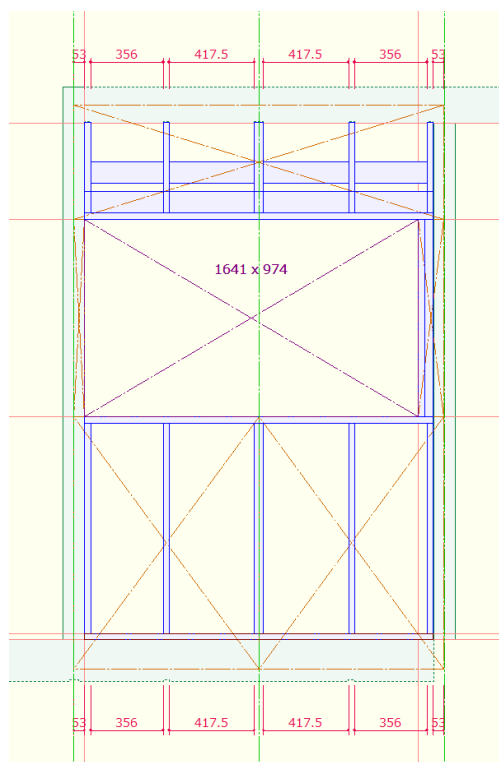
壁パネル上端に縦枠材上端がある場合に、壁パネル上部の寸法生成の対象となります。  
矢切パネル等で上枠に勾配がある場合、パネル上部の縦枠材間寸法および部材寸法は生成されません。

### ⑪ 部材寸法：「枠材間寸法（巾）」で「あり」を選択した場合に設定できます。

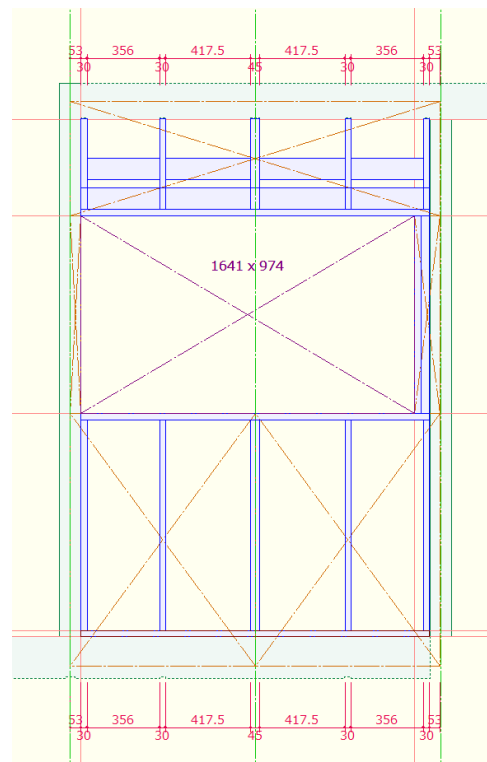
「あり」を選択すると、枠材間寸法に各部材の材成の寸法を生成します。

### < 枠材間寸法（巾） >

・「部材寸法」が「なし」の場合



・「部材寸法」が「あり」の場合



|           |                          |                                     |
|-----------|--------------------------|-------------------------------------|
| 枠材間寸法(高さ) | <input type="radio"/> なし | <input checked="" type="radio"/> あり |
| 部材寸法      | <input type="radio"/> なし | <input checked="" type="radio"/> あり |

### ⑫ 枠材間寸法（高さ）

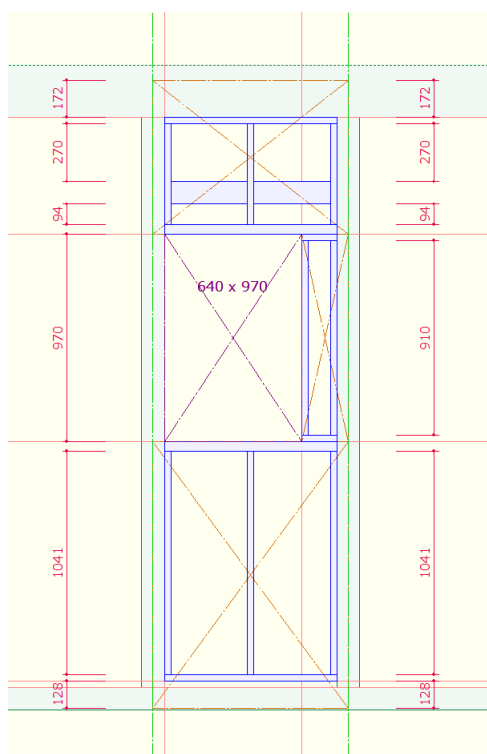
「あり」を選択すると、壁パネルの左側、右側の端部にある横枠材間の寸法を生成します。  
寸法生成の対象となる横枠材は、下枠、上枠、調整合板、窓台、窓まぐさ、造作下地材、胴縁となります。

### ⑬ 部材寸法：「枠材間寸法（高さ）」で「あり」を選択した場合に設定できます。

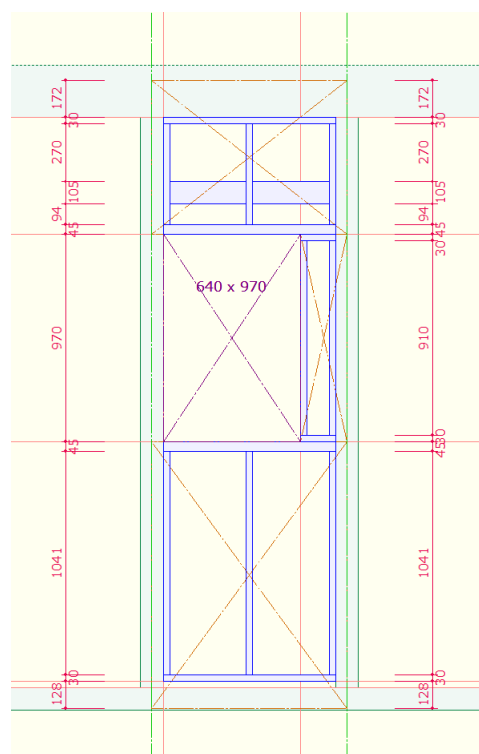
「あり」を選択すると、枠材間寸法に各部材の材成の寸法を生成します。

### < 枠材間寸法（高さ） >

・「部材寸法」が「なし」の場合



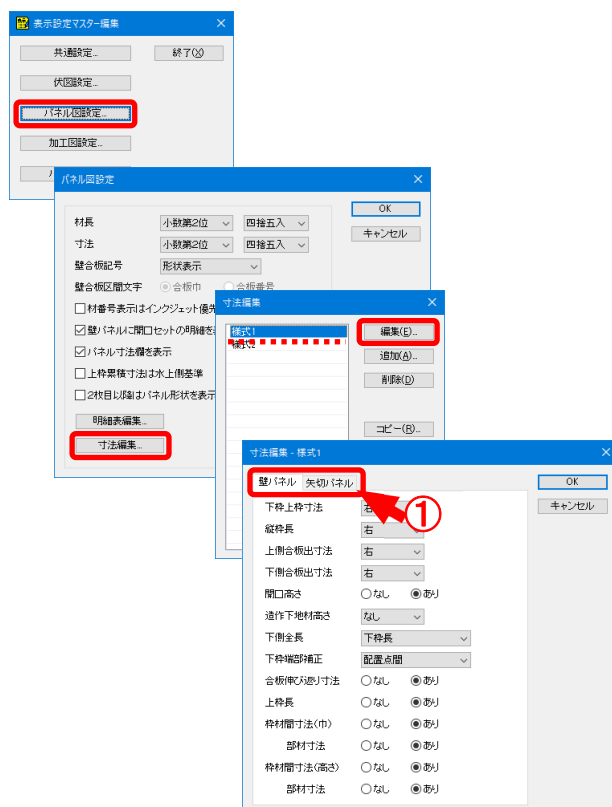
・「部材寸法」が「あり」の場合



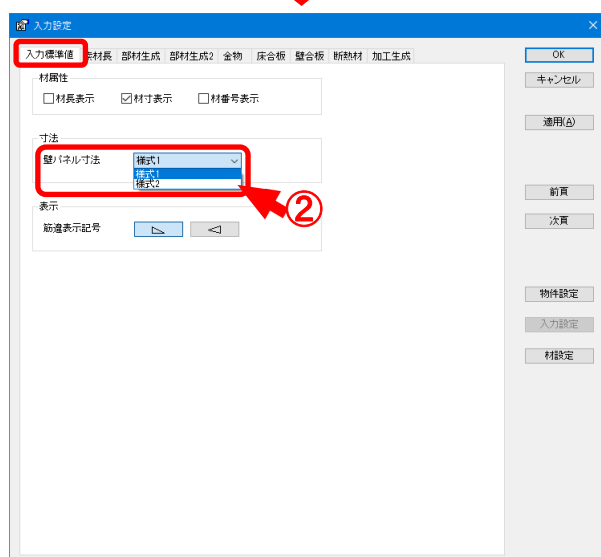
Technical drawing of a window frame showing dimensions and construction details. The drawing includes a central window unit with a grid pattern, surrounded by a frame. Dimensions are given in millimeters. Key dimensions include: overall width 1712mm (top), overall height 1170mm (left), and overall height 2568mm (right). The window unit itself is 1290mm x 1170mm. The drawing also shows the placement of the frame, the height of the base material (2184mm), and the height of the opening (1934mm). The drawing is labeled with '上柵長' (top frame length), '上側合板出寸法' (top side panel dimensions), '下柵上柵寸法' (bottom frame top frame dimensions), '下側合板出寸法' (bottom side panel dimensions), '下柵端部補正' (bottom frame end correction), '下側全長' (bottom side full length), '合板伸び戻り寸法' (panel expansion return dimensions), and '柵材間寸法 (巾)' (frame material spacing (width)).

補助－マスター編集－表示設定マスター／パネル図設定／寸法編集

＜寸法自動生成までの流れ＞

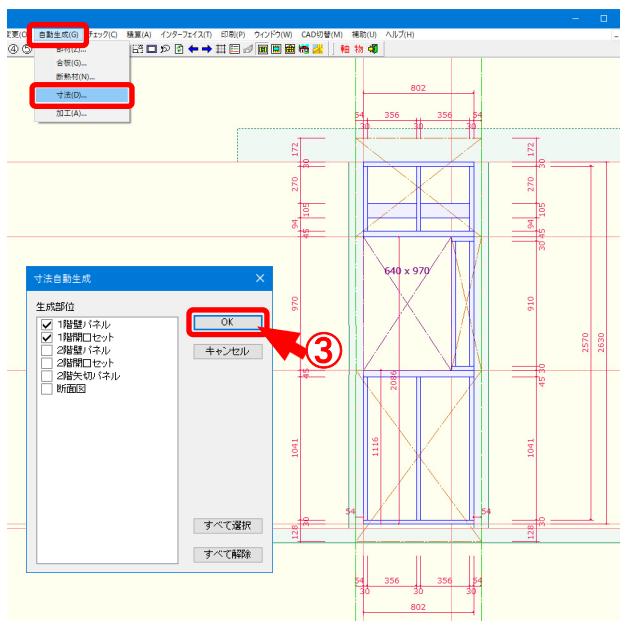


- ① 〔補助－マスター編集〕の「表示設定マスター－パネル図設定－寸法編集」で壁パネル、矢切パネルの寸法生成方法を設定します。



- ② 〔初期仕様－入力設定〕の「入力標準値－壁パネル寸法」で①の「寸法編集」で設定した仕様名称を選択します。

## 補助—マスター編集—表示設定マスター／パネル図設定／寸法編集



③ 「自動生成—寸法」を実行します。

②の「壁パネル寸法」で設定した仕様で寸法が自動生成されます。